



第10期大阪市廃棄物減量等推進員（通称：ごみゼロリーダー）の
 実地研修会を開催しました。東成区からは、5名のごみゼロリーダ
 ーが参加され、「パナソニックエコテクノロジーセンター（株）
 ピーイテック
 （通称：PETEC）へ工場見学に行ってきました。



令和5年3月24日（金）、兵庫県加東市佐保50にある「パナソニックエコテクノロジーセンター（株）」へ工場見学に行ってきました。この施設では、家電4品目（テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機）の解体作業を行い、新しいリサイクル技術で、より多くの資源を回収し、再生資源として世の中に還らせる事業をされています。見学に際し、職員の方から、家電4品目の法律の説明や、リサイクル料金の推移、メーカー毎にグループが分かれている事や

テレビ1台を解体することで、希少金属が数百グラム取れることなど、普段、知ることが出来ない現場ならではの情報などを教えていただき、参加されたごみゼロリーダーの方々は熱心に聞き入っておられました。説明会後の質問タイムでも家電4品目施行前の処理方法であったり、現場作業の大変さに対する対策等、積極的に質問され、有意義な見学会となりました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



PETEC が取組む

「資源循環型モノづくりで大切な資源を未来へ」を体感



東成区廃棄物減量等推進員
の皆さまで記念撮影

工場見学を通じて、資源循環の役割や環境問題、適正処理など、大阪市でも同じような取組みを行っており、リサイクルの重要性や、法律に基づく適正処理のあり方など、今後の、推進員の皆さまと進める「ごみ減量・リサイクル促進」に参考になる内容でした。

PETEC では、地域の皆さまと定期的に意見交換をされるなど、地域社会との繋がりを大切にされていました。地域と行政のパイプ役を担っていただいているごみゼロリーダーの皆さまと、相通じる取組みが感じられました。



東成区・生野区の廃棄物減量等
推進員の皆さまで記念撮影

ロゴマークの趣旨



ごみゼロリーダーを中心に、それを取り巻く3本の手が一体をなっ

発生抑制 (Reduce : リデュース)
再使用 (Reuse : リユース)
再生利用 (Recycle : リサイクル)

の3Rに取り組んで、ごみ減量・リサイクルの環を構築する姿と循環型社会の形成に向けた3Rという基本原則を表しています。

《編集・発行》

大阪市東部環境事業センター
大阪市生野区巽中1-1-4
TEL: 06-6751-5311 FAX: 06-6753-3041
<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

